

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	くりのき保育園
所在地	東京都品川区南品川4-1-11

## 1 活動のテーマ

自然・米

＜テーマの設定理由＞

都心では体験できない田植え(泥遊び)・稲刈り(虫探し)を園外保育で取り入れ、子どもたちの自然や生き物に対する興味を引き出したいため。また、当り前に食しているお米の生長過程を知ることによって食に対する興味を引き出したいため。

## 2 活動スケジュール

- ・5月7日 田植えや虫についての導入(田んぼの生物図鑑・田植えの植え方動画)
- ・5月8日 行きのバスで栄養士によるお米クイズ
- ・5月8日 裸足で田植え、泥遊び、景色を見ながら思い出画
- ・5月9日 頂いた稲を保育園で植える(バケツ稲)
- ・9月11日 稲刈りや虫についての導入(田んぼの生物図鑑・稲の刈り方動画)  
バケツ稲の観察
- ・9月12日 行きのバスで栄養士によるお米クイズ
- ・9月12日 稲刈り、その後グループごとに虫探し
- ・10月 収穫した米を玄米で送ってもらう
- ・10月 給食で玄米を提供
- ・10月15日 残りの玄米を近隣のお米屋さんに行っていき精米過程を観察
- ・10月24日 精米したお米を使い、自分たちで塩おにぎりを握り食べる

## 3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

※活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具

- ・田植え稲刈り場所の年間契約
- ・貸し切りバス予約
- ・園外保育お知らせ作成
- ・田植え、稲刈りの動画
- ・生き物図鑑、色鉛筆、画用紙、画板
- ・泥遊びのため、着替え一式、バスタオル、
- ・虫取り網、虫かご、バケツ
- ・鎌
- ・仕入れ先のお米屋さんとの精米の日程調整

## 4 探究活動の実践

### <活動の内容>

園外保育が近づき『お米ってどうやって出来ているか知っている?』とこども達への問いかけから始めた。スーパーで購入している家庭がほとんどなので田んぼのイメージを持っている子は少なかった。田植え前日に農家から送っていただいた動画を見て、田植えのイメージをもってもらった。また、田んぼには様々な生き物がいることも伝え、図鑑で調べ期待感を膨らませた。

田植え当日はバスの中で栄養士がお米に関するクイズを出し、お米への興味を引き出した。千葉県鴨川の大自然な中での田植えは、裸足で実施。土の感触を直接味わってもらった。植え方も農家の方々からレクチャーされ泥まみれになりながら実施。

田植え後は、空いている田んぼをお借りし、泥遊びを行った。全身泥まみれになり、遊ぶ姿があった。なかには、田んぼで泳ぐ姿も見られた。田植えや空いている田んぼでの泥遊びは都会では味わえない貴重な体験であった。こどもたちもいつも以上の笑顔で楽しんでおり、保育者として嬉しくなった。シャワーを浴び、お弁当を食べた後は、鴨川の大自然を見ながら、色鉛筆で思い出画を描いた。友達と楽しかった思い出を話しながら描く姿に成長を感じた。

稲刈り当日は、田植え同様に栄養士によるお米クイズをして、稲の生長の期待感を高めた。稲の生長に驚くこどもたち。稲刈りは保育士と一緒に鎌を持ち、一株ずつ刈っていく。刈り終わった後はグループに分かれ、虫探しをした。グループごとに虫網、虫かご、ミニ図鑑を持って実施。虫網を持って棚田を走りまわり、採った虫を自慢し合う姿があった。虫探し後は、稲架掛けもこどもたちが行った。その後、お弁当を食べ、田植え同様に思い出画を描いてから帰園した。

収穫したお米は玄米で送ってもらった。給食で玄米を提供する日を設け、白米との違いを感じてもらった。また残りの玄米は仕入れ先のお米屋さんへ持っていく、精米の過程を説明してもらい実際に見せてもらった。精米したお米は、クッキングに使用。おにぎり作りを行った。お米、本来の味を感じて欲しかったので具は入れず、塩のみで実施。『おいしい!』と言ってすぐに食べる姿が印象的であった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

※活動の様子が分かる写真を2枚以上を貼付してください。  
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



## 5 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・普段何気なく食べているお米はどうやって出来ているのかを知っているこどもは意外と少なかった
- ・汚れることが苦手な子も田んぼの中に入ることができていた。
- ・泥遊びでは都会では味わえないダイナミックな感触遊びが出来ていた。
- ・鎌に触れることが初めてな子が殆んどであったが、大人と一緒に使い方を学べた。
- ・都会にはいない虫を発見することができ、こどもたちの目は輝いていた。
- ・お米屋さんで精米過程を実際に見せてもらうことで、白米にするまでの大変さを感じたようであった。
- ・自分たちで育て、白米になるまでの過程を見せてもらったお米は格別だったようで、クッキングでおにぎりを作って食べた際は、塩の味付けだけでも、みんな『おいしい〜!』と食べていた。
- ・田植えと稲刈りだけの体験であったが、その間は農家の方々が稲の管理をしてくれていることを伝え、農家の方々への感謝の気持ちと食べ物のあるがたみを感じてくれたと思う。
- ・大自然の中での活動はこどもたちを成長させる。